

設計・計画部門



くらた はるか  
倉田 遼

生年月日 1982年8月大分県生まれ  
最終学歴 2009年大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻建築工学科目修了  
業務経歴 2009年㈱日建設計入社  
現在、プロジェクト開発部門計画部所属

●担当した主なプロジェクト

- 2009年 渋谷道玄坂一丁目基本計画策定（東京）
- 2010年 中心部詳細都市計画及びガイドライン策定（ホーチミン、ベトナム）
- 2011年 大井一丁目南地区再開発都市計画（東京）
- 2012年 大手前通りトランジットモール社会実験（姫路）
- 2013年 鹿児島駅周辺整備計画（鹿児島）
- 2014年 三宮周辺地区再整備基本構想検討（神戸）  
コミュニティサイクル社会実験（姫路）
- 2015年 まちなかベンチプロジェクト（福岡）
- 2016年 成長・経営戦略アクションプラン策定（尾道）

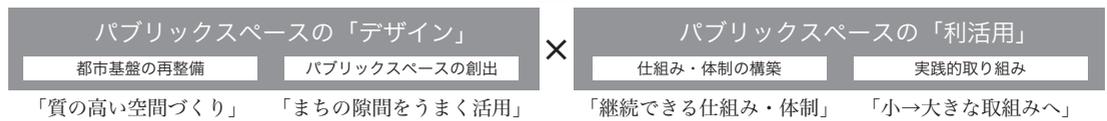
■青年技術者のことば

国内外の多都市のプロジェクトに従事してきた中で、ハード整備に留まらず、まちの豊かさや長期的な利用者の関わり方などソフト面にも考慮した質の高い、使われ続ける空間づくりが大切だと感じています。今後は新たなまちの交流・活動・発信拠点となる「パブリックスペース」のデザインと活用をトータルで検討しながら「パブリックスペースの価値を高めるまちの魅力づくり」を目指していきたいと思っています。

計画から開発、エリマネの段階までの長期的な関わりを持ち、市民や事業主体など実働部隊とのネットワークづくりや体制構築までを提案・実現し、最終的には提案するだけに留まらず自ら実践に取り組むところまで挑戦したいと考えています。

■すいせん者

西田康隆  
㈱日建設計  
プロジェクト開発部門 計画部長



交通広場の再整備と賑わいづくり（渋谷）

国内外の多くのお客さまを迎える「玄関口」として街と人をつなぐ仕掛けを提案



駅前遊休地の再編による交流空間の創出（鹿児島）

遊休地を緑豊かな憩い空間とにぎわい・交流の創出を図る活動の場に再生



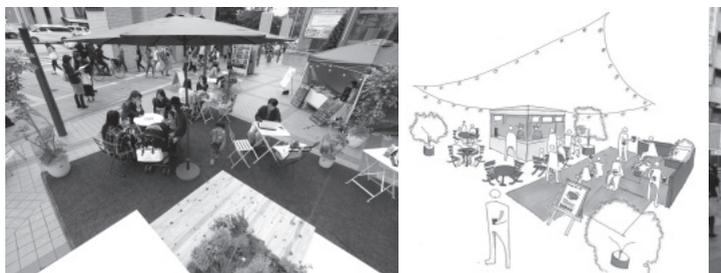
道路空間の再配分による「えき～まち空間」の創出（三宮）

神戸の象徴となる駅前空間として、6つの駅とまちをつなぐ「えき～まち空間」という概念を提案



公開空地や公園における休憩空間の創出（天神）

既存のパブリックスペースの付加価値を向上して魅力的な空間に変える



駅前広場における利活用（姫路）

再整備によって創出される道路空間と広場空間の一体的な利活用の検討



コミュニティサイクルの社会実験（姫路）

トータルデザインによるコミュニティサイクルのブランディングへの挑戦

